

# 令和5年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：26017

学校名：藻岩北小学校

## 改訂のポイント

○伝え合いの中で、共に学ぶ楽しさを感じる授業づくり

項目名	項目内容	項目内容の具体		
標目	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	主体的に学びに向かう子・・・課題を自分事として考える・自分の考えを表現する・友達の考えのよさに気付く		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が主体的に取り組めるような課題設定や単元構成の工夫</li> <li>教室掲示の活用</li> </ul>	<b>【成果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味をもてるように導入を工夫したり、児童に合ったレベルの学習課題を設定したりすることで、自分の考えをもちながら学習に取り組む姿が見られた。</li> <li>教室掲示で既習を振り返りながら、課題を考えようとしていた。</li> </ul>	<b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習を生かし、子どもが考えたい課題になるようさらに工夫することが必要である。</li> <li>意欲を持続させる手立てを考えていく。</li> </ul>
	思考力・判断力・表現力等	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>思考をつなげ、広める交流場面</li> <li>思考を深める発問</li> </ul>	<b>【成果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>色々な考え方を比べる場面を作ることで、思考の深まりが見られた。</li> <li>小グループでの交流をもつことで、自分の考えに自信をもって伝えようとする姿が見られた。</li> </ul>	<b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「話す」「聞く」のスキルを両方とも向上させていく。 ⇒聞きたくなるような話し方 話したくなるような聞き方を旨す。</li> </ul>
	基礎的・基本的な知識及び技能	<b>【昨年度の具体的な取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の推進・奨励（掲示板の活用、手引きの配付）</li> <li>学力テストの分析・習熟への活用</li> </ul>	<b>【成果】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>全校児童が週1回以上の家庭学習に取り組んでいる。</li> <li>全校朝会で家庭学習の取り組み方を紹介し、内容を工夫しようとしている子もいる。</li> </ul>	<b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の内容を向上させていく。</li> <li>基礎基本の定着のための手立てを充実させていく。</li> </ul>
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	<b>【取組の共有】 基礎基本の定着 共に学ぶ楽しさを感じる授業</b>		
	具体的な改善策（取組）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宿題・家庭学習～全校的な取り組みで学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校朝会や掲示板を活用して取組の推進</li> <li>・家庭との連携→手引きの配付</li> </ul> </li> <li>○習熟～学習内容の習熟のための時間や機会を確保し、定着を図る                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導の実施</li> <li>・ICTの活用</li> </ul> </li> <li>○読書～各学年の実態に合わせて読書の充実を図る                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書時間の確保</li> <li>・学習進度に合った内容の本の紹介、読書の推進</li> </ul> </li> <li>○学習を支えるために                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話し方」「聞き方」「ノートの使い方」の指導</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己肯定感や協働性を高める学級運営</li> <li>○授業づくりの視点1～「考えたい」が生まれる教材化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題の工夫</li> <li>・見通しをもたせた学習</li> </ul> </li> <li>○授業づくりの視点2～思考をつなげ、広げ、深める教師の関わり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・話す力と聞く力の育成</li> <li>・板書での価値付け</li> </ul> </li> <li>・振り返りの場の設定</li> </ul>	
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科の評価規準に基づく学習状況評価及び日々の観察記録の活用</li> <li>○全国学力・学習状況調査、学力テストの結果、札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用</li> <li>○児童アンケート、保護者アンケート結果の活用</li> </ul>		